

日高スズトクタイランドがタイ温室効果ガス管理機構(TGO)の Carbon Footprint for Organization(CFO)認証を取得

リバー株式会社(本社：東京都墨田区、代表取締役社長：松岡直人、以下「リバー」)の持分法適用関連会社である HIDAKA SUZUTOKU (Thailand) Co., Ltd.(代表取締役社長：小林公平、以下「HST」)は、このたびタイ王国の公的機関であるタイ温室効果ガス管理機構(Thailand Greenhouse Gas Management Organization:以下「TGO」)が運営する組織向けカーボンフットプリントプラットフォーム認証(Carbon Footprint for Organization:以下「CFO」)を取得しました。

本認証は、HST の事業活動に伴う温室効果ガス(GHG)排出量の算定・管理について、第三者機関であるTGOに認められたものであり、リバーにとって唯一の海外事業拠点であるHSTにおける、環境管理体制の構築・強化を対外的に示すものです。

2026 年 7 月 16 日にタイで開催された授賞式では、HST と株主である日高洋行エンタープライズ株式会社が認証証書を受領しました。

※HST は日高洋行エンタープライズ株式会社が 51%、リバーが 49%を出資するタイにおける合弁会社(持分法適用関連会社)です。



左:HST 小林社長 右:日高洋行エンタープライズ 日高社長

1. 認証取得の背景

近年、タイにおいても脱炭素社会の実現や ESG 経営への対応が企業に求められており、サプライチェーン全体で温室効果ガス排出量の把握・開示の重要性が高まっています。

CFO は、組織の事業活動に伴う温室効果ガス排出量を定量的に把握・管理し継続的な排出量削減や脱炭素経営につなげるための認証制度です。

HST ではこうした社会的要請を踏まえ、環境負荷の低減と環境管理体制の強化を目的として、CFO 認証の取得に取り組みました。

2. Carbon Footprint for Organization (CFO) 認証について

CFO は、タイ温室効果ガス管理機構 (TGO) が運営する認証制度で、組織単位での温室効果ガス排出量を国際的な算定基準に基づいて算定し、その内容を第三者が認証するものです。今回 HST では、主に Scope 1 および Scope 2 の排出量を算定し、その管理方法や算定内容が適切であることについて TGO の認証を取得しました。



3. CFO 認証取得を踏まえた今後の取り組み

HST では、CFO 認証の取得にあたり算定した GHG 排出量を活用するとともに、GHG 排出量を適切に算定・管理する体制を継続し、取引先からの情報開示要請や環境評価への対応力の向上を図ります。

今後は、省エネルギー活動の推進、再生可能エネルギー導入の検討、物流・輸送効率化による排出量削減、設備更新によるエネルギー効率の改善などに取り組んでまいります。

リバーは今後も、TRE グループが掲げる「WX (Waste Transformation) 環境企業への挑戦」(※)のもと、資源循環事業を通じて環境負荷の低減と資源の有効活用を推進し、高度循環型社会および脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

※ 従来資源化の難しかった廃棄物・使用済製品等について、廃棄物処理の技術的・採算的課題を克服し、資源やエネルギーへと変換する取り組みであり、動脈・静脈の枠組みを超えた“共創”により高度循環型社会、脱炭素社会の実現を目指すもの。

以上

＜ 本リリースに関する問い合わせ先 ＞

リバー株式会社 経営企画部広報課

連絡先: 03-5204-1891 e-mail: kouhou@re-ver.co.jp